

第 7 回多治見市役所新庁舎検討市民委員会 会議録	
日 時	令和 4 年 5 月 13 日（金）午後 3 時 00 分～午後 4 時 37 分
会 場	産業文化センター 3 階大会議室
出席委員	小林甲一委員（委員長）、柴田錦見委員（副委員長）、佐藤喜好委員、原國夫委員、坂崎雄介委員、堀尾憲慈委員、佐々木千裕委員、今枝寛彦委員、小口英二委員、西尾英子委員、竹本幸二委員
欠席委員	加藤恒文委員
事 務 局	仙石総務部長、福田総務課長、若林課長代理、石田主査、佐藤主任、堀尾建築住宅課長
傍 聴 人	4 名
報道機関	6 社
会議結果 要旨	
1. 前回の委員会からの動きについて、事務局から報告を受け確認した。 2. 市全体のまちづくり構想を踏まえながら議論を進めていく。 3. 庁舎が移転する場合、現本庁舎周辺地域の方の懸念を踏まえ、跡地利活用について検討していく。	
会議録 要旨	
1 総務部長挨拶	
事務局	本委員会の新委員を紹介する。区長会長の交代により、田嶋義晋委員に代わり原國夫委員が就任されたので報告する。
2 議事 委員長	本日は前回の委員会からの動きを報告する。この段階で一度情報共有、意見交換を行う。
(1) 前回からの動きについて（報告）	
ア 当委員会中間報告の提出について	
事務局	令和 3 年 1 1 月 2 4 日に委員長から市長に中間報告を提出していただき、令和 4 年 1 月 2 0 日に委員長から市議会全員協議会にて報告していただいた。その日の午後、議会の本庁舎建設に関する特別委員会にて質問を受け付け、駐車場について、市民委員会で結論は出たのかという質問に対し、そうではないと回答をした。
イ 地区懇談会の実施結果について	
事務局	（資料 1 について説明）
委員長	質問はあるか。
委員	なし
ウ パブリックコメントの実施結果について	
事務局	（資料 2 について説明）
委員長	質問はあるか。
委員	なし
エ 市議会特別委員会 議論経過報告書について	

事務局	(資料3について説明)
委員長	(1) 前回からの動きについて、質問はあるか。ないようなので、前回からの動きについて、事務局からの報告を受け、確認したということで、次の議題に移る。
(2) 駐車場の手法について	
事務局	(資料4について説明)
委員長	質問はあるか。
委員	費用も重要であるが、一方で公用車駐車場が遠くなることによる市職員の仕事の業務効率の低下についても考えていく必要があるのではないか。オペレーション上難しくなること、または工夫により解決できることを確認していくとよい。 また、公用車駐車場について、白山豊岡線予定地を暫定利用する案は、これまでの、民間所有地を借り上げ立体駐車場を新設する案に比べよいと思った。
委員	ネットワーク型コンパクトシティについて、各拠点を結ぶ多様な交通手段の整備を行うことがポイントである。駐車場の問題だけを議論しても意味がない。市全体のまちづくりを考えるなかで、どのように交通手段を整備し、どのような利用形態とするかを含め、総合的に考える必要があるのではないか。
委員長	委員の意見は重要なことだと思う。これを機に、多くの市民が納得できるようなネットワーク型コンパクトシティとしての多治見市の姿を考えていく必要がある。その中で新庁舎の駐車場についても考えていく。 駅南駐車場の利用が盛り込まれてきたことも重要だと思う。市役所に行くだけではなく、周辺で買い物をする方が増えていくことがネットワーク型コンパクトシティの利点である。南北方向の移動がより盛んになれば、町の雰囲気が変わってくるのではないか。 単なる公共施設の駐車場ということではなく、方針をきちんと決めて整備することが必要。
委員	世の中がどんどん変わっていつている。ある程度の姿がみえるまでは臨時の運用を行い、固定した投資は避けるべき。豊岡駐車場を組み入れてもいいと思う。
委員長	これからモビリティが大きな変化をしていく。その変化に対応できることを考え、更新が必要なもの、柔軟に対応できる余地を持つというバランスが大切。
委員	資料4(別紙1)をみると、市有地であるからだと思うが、駐車場が東側に集中している。東側が混雑するため、西側の駐車場も検討する必要があるのではないか。また、駅北立体駐車場から庁舎まで距離があり、雨の日には使いづらい。しかし現実問題、西側の庁舎近くに整備することは難しいと思うので、駅南の駐車場と連携することが結果的に利用者のためになると思う。
委員	コンパクトシティとは何か、が市民に浸透していないと思う。誰しも自宅の周辺が便利であってほしいと思うものであり、駅北か駅南かという枠をこえたところに市民の感覚はあると思う。これからの市全体のまちづくりについて、具体的に市民一人一人に伝わるようにしていかないと、現実問題として捉えられないのではないか。 一人一人がどのように建替え後のイメージを持ち、現実問題として捉えているかを掴んで進めていくことが、私たちに求められていることだと思う。

委員長	新庁舎の建設後に交通手段がどのように変わるか、駅南在住の方、子ども連れの方、高齢者の方それぞれが具体的にイメージできるように伝えていくことが必要である。
委員	これまでの委員会でも申し上げたが、駅周辺の民間駐車場が700台くらいある。当面の間は、既存のものを活用していく方向で進めていくとよいと思う。
委員長	その上で、まちづくりに資するような高度利用がどれだけ進んでいくか。同じお金を使うのであれば、専用駐車場を整備するか、民間駐車場と連携するかを考え、利用頻度の低い駐車場があるのであれば、上手く活用していくことも一つの方法である。
委員	公共交通機関がない地域では、あいのりタクシーを導入して利用している。このように移動手段がない人に対して、どのようにフォローしていくのかについても一つの論点としてとらえていただければと思う。
委員長	交通弱者に対する支援と、庁舎移転に係る駐車場整備の方針が、同じ方向を向いている必要がある。
委員	資料4（別紙2）ケース6について、駅南再開発駐車場料金は高額となる見込みと記載がある。市営である駅北立体駐車場に比べ、固定資産税が課税されているため価格に反映せざるを得ない。表現を工夫してほしい。 現在、建築費が高騰しており、以前と比べ3～4割高額になっている。庁舎建設費について、もう一度試算をする必要があると思う。
委員	おもいやり駐車場について、利用できる方はどこまでとするのか。取り締まり等を行うのか。 民間駐車場の活用をする場合、現状どのくらい余剰があるかわかれば知りたい。
事務局	駅南再開発駐車場料金について、不適切な表現を使用したことについてお詫び申し上げる。以後、表現に注意する。 おもいやり駐車場について、利用は善意によるものとし、取り締まることは考えていない。 駐車場の利用状況について、現本庁舎は通常70台である。今後、ICTの活用等により来庁の必要性が減少していく可能性がある。駅北立体駐車場について、コロナ禍のため、定期貸しと時間貸しの配分を工夫していただいているところ。新庁舎の供用開始までに、時間をかけて調整しながら定期貸しを徐々に減らし、時間貸しのスペースを確保していただく予定である。
委員	駅北の民間駐車場は、満車であることが多い。その状況の中、駅北庁舎隣接地に新庁舎を建設した場合、どのくらい来庁者が利用することが可能か。民間駐車場の利用状況について知りたい。
事務局	現時点では、駅北の民間駐車場の利用状況は把握していない。意見を踏まえ、利用状況を鑑みて、民間駐車場の活用について検討していきたい。
委員	現在、駅南及び駅北の駐車場は、駅南再開発工事関係の車両が多いため飽和状態である。工事終了後に調査を行うと、通常の利用状況がわかると思う。
委員	おもいやり駐車場について、駅北庁舎には保健センターがあるので、妊娠中の方だけでなく小さな子ども連れの方にも優しいように表示してもらえると使いやすい。

	地区事務所の機能を充実させ、市庁舎としっかり連携していくことが、交通手段がない人へのフォローにつながると思う。 ICT を活用して、来庁の必要性を減らすことにより、将来の駐車場の必要性も変わってくるのではないかと。目指すところを決めておくと、市民としては安心して新庁舎の建設を待てる。
委員長	ICT の活用について、市として具体的な目標はあるか。
事務局	明確な数字を即答することはできないが、今後数年のうちに、様々な手続のオンライン申請が可能になる。対面での手続が望ましいこともあるため、100%オンライン申請とはいかないが、手始めとして、今年度末までに、転入出の届出、保育園関係の届出、介護保険関係の届出がオンライン申請可能となる。ほかの分野にも広がっていけば、個人の方が来庁する必要性はかなり少なくなっていく。また、多治見市ではマイナンバーカードの取得率が約40%である。保険証、免許証の機能が集約され、住民票としての役割も担うようになれば、ますます来庁の必要性は少なくなっていく。 委員の意見のとおり、市役所の駐車場のニーズが今後5～10年間で大きく変わる可能性があり、駐車場の整備については、そのことを踏まえて検討していく。
委員	車での移動より、公共交通機関での移動に便利なところが駅北である。駅北立体駐車場は、庁舎からの距離が遠いというとらえ方もあるが、あえて庁舎と駐車場を離すことで、公共交通機関での来庁が便利であるというイメージを市民の方にもってもらいたい必要ではないかと思う。公共交通機関の利用者を増やし活用していくことが、公共交通機関の充実につながっていくのではないかと。
委員	前回の委員会から本日の委員会までの間、自分の意見や委員会の内容を振り返った。その中で、一部意見に偏りがあるのではと感じたため申し上げる。 建替え、移転については、賛成。建物のみならず、デジタルインフラ、システムを含めて老朽化しており、また、新しいまちづくりの契機、ネットワーク型コンパクトシティ＝連携型集約都市の実現に向けた契機とするためである。 現在、市が行っている多治見駅周辺の整備は、連携型集約都市に向けた中心拠点の整備にあたると思う。連携型集約都市は、複数の地域拠点（旭ヶ丘、根本、滝呂、笠原、脇之島）の整備、各拠点を結ぶ交通手段の整備の3つがそろい、はじめて完成されると理解している。しかし、これまでの委員会では、議論が中心拠点の整備に偏り、地域拠点の整備、交通手段の整備に及んでいない。新しいまちづくりを目指すのであれば、同時に地域拠点の整備、交通手段の整備を行っていく必要があるのではないかと反省した。地域拠点の整備については、委員が前回までの委員会で指摘していたが、具体的な内容が見えない。地域拠点の整備、交通手段の整備について、具体的にどのように考えているのか。すべて同じレベルは難しいかもしれないが、地域拠点、交通手段の整備についても検討していく必要があると思う。
委員長	新庁舎検討市民委員会であるため、駅周辺に議論が傾いてしまう側面もあるが、意見は非常に重要なことである。中心拠点と地域拠点が発展してこそネットワーク型コンパクトシティである。

	駐車場の手法については、多様な意見をいただいたのでここまでとする。本日の次第を終え、時間に余裕があれば総論的なことについて意見交換を行う。
(3) 多治見市役所の位置を定める条例の一部改正について	
事務局	(資料5に沿って説明)
委員長	質問はあるか。
委員	なし
3 その他	
事務局	用意した議題はない。
委員長	では、時間に余裕があるため、全体を通して意見、質問はあるか。ないようなので、次回の開催について、6月市議会での審議の推移により決定する。 本日は、駐車場の手法を中心に、様々な視点から意見をいただいた。市全体のまちづくりの構想も踏まえながら議論を行っていく。また本日は議題にあがらなかったが、移転する場合の現本庁舎の跡地利活用について、パブリックコメント等からうかがえる地域の方の懸念も踏まえながら進めていきたい。
4 次回以降の日程	
事務局	次回の日程について、6月市議会における審議の推移により調整する。それではこれで本日の会議を終了する。